

# 全国税

発行所 東京都千代田区霞ヶ関 財務ビル内(〒100-0013) 全国税労働組合 発行人 岡田 俊明 電話(03)3581-3678 FAX(03)3507-0886 振替口座 00140-2-68514

“税務の職場” 何でも110番 zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号までどうぞ)。

全国税ホームページ http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

## 長官交渉

# 互いが人格認めあう職場に

## 人事運用 処遇改善の熱意見えず

長官表明

が、労働時間の延長や労働密度を高めないと約束できるか。

長官 量に

いては超勤につ

ながる話であ

り、できる限り

効率化し増やさないよう

にしていきたい。質はそ

の比較となると難しく、

この場で判断は下せな

い。

全国税 仕事がつく

なりゆとりがなくなった

と認識している。人があ

り行政がある。機械がま

かなえるということでは

ないので、人を大事にし

てほしい。

全国税 本年4月の給

与制度変更で賃金は事実

上昇給停止状態にあり、

中高音職員切捨てに向っ

ている。

全国税 切り

捨て状態にあつ

た一桁台採用の

国税専門官の6

級昇任は一定の

改善が図られ

た。人事は固定

的でなく絶えず

求めている。

長官 希望する職員は

できる限り採用したい。

再任用職員は安定、安心

して職務を果たして欲し



新長官の基本姿勢を問う岡田委員長

き、よく職務を果たした職員にはその労苦に報いる人事にした

全国税 切り

捨て状態にあつ

た一桁台採用の

国税専門官の6

級昇任は一定の

改善が図られ

た。人事は固定

的でなく絶えず

求めている。

長官 希望する職員は

できる限り採用したい。

再任用職員は安定、安心

して職務を果たして欲し

い。仕事について希望は

聞かなくていい。希望は



人事・事務運営の「基本方針」繰り返す 福田新長官

全国税は9月26日、福田新長官と交渉を行いました。冒頭、職員処遇改善に対する基本姿勢をたじた後、中高年職員処遇、「降格人事」再任用の職域拡大、下期人事・「特昇」問題、行(二)職員の処遇改善、内部事務一元化、労働強化、パワハラ根絶、超勤の大幅削減、確中期対策、労使関係の正常化を議題にその実現を迫りました。

### 基本姿勢を問う

「税制改革」に関し、企業理解を得るようになっている。影響を与える改正には、納税義務の円滑な実現のため、適切な増員等を要請している。

長官 庁の考え方を伝

全国税 e Tax

50%達成というところも

なく高いハードルが掲げ

る。

全国税 内部事務一元

化の試行等を行っている

中高年職員切捨てに向っ

ている。

全国税 本年4月の給

与制度変更で賃金は事実

上昇給停止状態にあり、

中高音職員切捨てに向っ

ている。

全国税 切り

捨て状態にあつ

た一桁台採用の

国税専門官の6

## 「頑張り」と 追い討ちかけるな

「頑張って病気になる人」に

### パワハラ等の禁止

全国税 セクハラ、パワハラの根絶、とりわけパワハラ問題での管理者教育を徹底して欲しい。怒鳴るといのは頻繁にあり、その結果、病気になる職員もいる。

また、パワハラで病気になる職員が職場復帰ができるために、メンタルヘルス面からの積極的対応も必要だ。

長官 職員一人ひとりがお互いに人格を認め合い、明るく風通しの良い職場づくりを強調している。そのことを管理者が理解するのが重要であり、引続き繰返していく。

全国税 上司昇任を待つ病気の職員に昇任したければ仕事しろと暴言を吐いた署長もいる。「頑張って」病気になる人に、「頑張り」と追い討ちをかけることはあってはならない。

長官 指摘の後段部分は全く同感である。

## 長官 全く同感だ



新長官の基本姿勢を問う岡田委員長

き、よく職務を果たした職員にはその労苦に報いる人事にした

全国税 切り

捨て状態にあつ

た一桁台採用の

国税専門官の6

級昇任は一定の

改善が図られ

た。人事は固定

的でなく絶えず

求めている。

長官 希望する職員は

できる限り採用したい。

再任用職員は安定、安心

して職務を果たして欲し

い。仕事について希望は

聞かなくていい。希望は

聞かなくていい。希望は

聞かなくていい。希望は

聞かなくていい。希望は

聞かなくていい。希望は

聞かなくていい。希望は

聞かなくていい。希望は

## 劣悪な処遇 日常の労苦に報いよ

全国税 例えば、用務員さんは皆が快適に仕事ができるよう6時半に出勤し仕事をしてきた。これを1時間遅らせ、機械的に超勤手当を削減している。劣悪な俸給表と昇格実態の中で、採用時に超勤手当で補填する旨の約束をした経緯を考えると、適切な対応を求めたい。

長官 超勤勤務は臨時・緊急時に必要に応じ命令により行うもので、行政(二)職員も同様だ。各署の実情を踏まえ適切に実施され、超勤縮減対策で業務を機械的に取上げるといったことは行われていないと認識している。

全国税 回答が硬い。気持ち良く働ける環境をつくるため努力している職員の生の声を聞いてもらいたい。決して、法令違反の不当な要求をしているのではなく、該当者の生活をどうするかという視点で言っている。

長官 言われたことが不当だとは全く思っていない。

全国税 東京葛飾署の用務員の中塚さんは勤続14年超で1級にすえ置かれたままだ。従来の昇格運用からも不当な扱いだ。

長官 個別の問題は答えられない。

全国税 例え、介護のため自宅近隣署を希望する統括官に「降格希望」を出させるといような「脅しの人事」には反対であり、今後も当局の対応を注視する。

全国税 下期発令にむ

け要求をしておきたい。

5級昇格は勤続28年で解消するペースで発令してきたが、29年後退させ

た。元に戻して欲しい。

長官 昇格は、限られた定数の中で制度の趣旨

に則って適切に実施する

ように指示している。

全国税 例え、介護のため自宅近隣署を希望する統括官に「降格希望」を出させるといような「脅しの人事」には反対であり、今後も当局の対応を注視する。

### 行(二)職員の処遇問題

全国税 例え、用務員さんは皆が快適に仕事ができるよう6時半に出勤し仕事をしてきた。これを1時間遅らせ、機械的に超勤手当を削減している。劣悪な俸給表と昇格実態の中で、採用時に超勤手当で補填する旨の約束をした経緯を考えると、適切な対応を求めたい。

長官 超勤勤務は臨時・緊急時に必要に応じ命令により行うもので、行政(二)職員も同様だ。各署の実情を踏まえ適切に実施され、超勤縮減対策で業務を機械的に取上げるといったことは行われていないと認識している。

全国税 回答が硬い。気持ち良く働ける環境をつくるため努力している職員の生の声を聞いてもらいたい。決して、法令違反の不当な要求をしているのではなく、該当者の生活をどうするかという視点で言っている。

長官 言われたことが不当だとは全く思っていない。

全国税 東京葛飾署の用務員の中塚さんは勤続14年超で1級にすえ置かれたままだ。従来の昇格運用からも不当な扱いだ。

長官 個別の問題は答えられない。

全国税 例え、介護のため自宅近隣署を希望する統括官に「降格希望」を出させるといような「脅しの人事」には反対であり、今後も当局の対応を注視する。

効率化オンリーの「最適化計画」

# 職員の負担軽減掲げる

## 内部事務の一元化試行 人をCPに合わせる「実験」

**内部事務一元化** ステムの抜本的な見直しを行い、行政の簡素化、業務効率の向上を徹底的に追求する」としている。

**全国税** 常々「これは人体実験だ」と言っている。従来の機械化・電算化は、日常業務の一部をコンピュータで肩代わりさせる手法で行われてきた。しかし、今回の試行は、システムの再構築を優先し、人をコンピュータに合わせるという、まさに「実験」であり、本末転倒している。

そもそも、「業務・システムに過重な負担をかける見直しをしない。一元化試行の趣旨は十分説明している。従事職員に過重な負担をかける見直しをしない」というように、意見も聞きたいと思っている。

**全国税** 現に、試行署では来署者の対応に忙殺され、内部事務が日中できない状況にある。また、窓口担当職員には

「一人税務署」を強要する事態も進行している。

**総務課長** 「一人税務署」という話だが、相談が個別になった場合、担当と替わるように指示している。さらに専門的な場合は、審理担当に引き継ぐようにしている。電話については相談センターを設置してやることとしている。

**全国税** 従来予定されていた業務とは相当次元の異なる内容を求めるものであり、それを保障する措置が不十分すぎることも問題だ。

第一に、研修時間があまりに短かく、第二に、配転があればすべてが無に帰す可能性があり、第三に、新たな一元化部署は徴収部に属することで、配置される職員は不安が付きまとう。

**長官** 一定の制約条件の中で、どう最大限効果を発揮するかにかかっている。研修が必要であれば状況に応じやると思っている。将来の処遇については、当面、定員や機構の見直しを踏まえることになる。一元化部門は専門的な税法を扱うことになるので、人事交流を促進していきたい。

**労働強化問題** **全国税** アウトソーシング予算が急増しているが、守秘義務や情報管理問題もある。

**超勤の大幅削減** **全国税** 今年の確定期は、三、四時間の超勤はザラで、内部担当では連日、深夜に及ぶという異常な実態になった。この点での抜本策を求める。

**署の実情勘案してと言うが** **再び犠牲者ださない確定期対策を** **立ちっ放し労働」再考にかたくなな姿勢**

また、国税庁としてノルマ主義的業務運営は行わないということではない。表やグラフ等を作成して配付し、あるいはメール配信、また、事務室へのグラフ・標語等の貼り出しなどによる職員への「尻叩き」は禁止する措置をとること。

**長官** 各事務系統への人員配置には、限られた定員を適切に配置していくこととしている。業務運営については、局署の実情に即して計画し、実施に当たっては弾力的に行うよう指示している。

**総務課長** バッチ単位で行うことにより、名寄せの手間もなくなり、事務が削減される。KSKシステムで帳票出力もでき、検索できるようにしている(同じ回答を繰り返すかたくなな姿勢に騒然となる)。

**全国税** これは稀にみる愚策だ。見直しするよう指摘しておく。

**確定期対策** **全国税** 現場ではプロジェクトチームが編成されるなど、確定期事務の計画策定作業が進んでいる。この中では、「巡回指導」が折込済みとして指示されている。

改めて問うが、「局署の実情に即して」というのが当局の基本スタンスではなかったのか。それがなぜ確定期には放棄され、「巡回」が強制されるのか。

**長官** どう対応するかは、各局署により違うと思う。巡回指導による集合指導を原則と考えているが、各署の実情を総合的に勘案し決定するものと考へており、必ずしも一律に巡回指導による相談体制を採る必要があるとは

告書を探すだけで相当の労力が必要となる。現場の統括官の圧倒的多数がこの処理方法はおかしいと考えているといっている。従来方式へ戻ること提案するがどうか。

**総務課長** バッチ単位で行うことにより、名寄せの手間もなくなり、事務が削減される。KSKシステムで帳票出力もでき、検索できるようにしている(同じ回答を繰り返すかたくなな姿勢に騒然となる)。

**全国税** これは稀にみる愚策だ。見直しするよう指摘しておく。

**限らないものと考えている。署内で十分協議することで英知を集めてもらいたい。**

**全国税** 四百人の署でも十数人の署でも一律になっている。

この巡回指導という相談体制は、「立ちっ放し労働」という過酷な形態を職員に強いている。立ちっ放し労働を確定期事務から完全に排除することを求める。

(厚生労働省通達に反すると)の全国税の指摘に、長官は「それは過激な発言と思う」「違反するならば重く受け止めなくてはならない、通達の項目のどこに違反するのか」と気色ばみ、お互いの主張の応酬の後)

**長官** そんなに大きな認識の違いはないと思う

が、通達違反と言われると目くじら立つ。職員健康管理は十分に配慮していく。

**全国税** 庁の対応策は椅子と交替制しかない。

**長官** 休憩用の椅子を用意し、一定時間で交替してやる。チェンジャーやハイカウンターの使用など工夫し、18分

**全国税** 端的に言うが、日曜出勤はやめていただきたい。

**長官** これを決断した当時の長官を私としては高く評価している。端的に言えば理解している。

も局署の実情に応じてなる。

**日曜開庁問題**

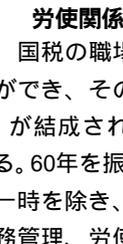
**全国税** 端的に言うが、日曜出勤はやめていただきたい。

**長官** これを決断した当時の長官を私としては高く評価している。端的に言えば理解している。

も局署の実情に応じてなる。

**日曜開庁問題**

**全国税** 端的に言うが、日曜出勤はやめていただきたい。



労使関係

**全国税** 国税の職場に戦後労働組合ができ、その全国組織(全財)が結成されて60周年を迎える。60年を振り返ると、戦後の一時を除き、国税庁当局の労務管理、労使関係は異常なものだったことがわかる。現在の国税の労働組合の分裂は庁当局の政策として引き起こされたものだ。

この間に失ったものは大きい。国税職員の良い意味での連帯意識や正義感の後退、「寄らば大樹の陰」的意識の醸成、そして人材だ。嫌気をさし少なくない職員が職場を去った。全国税に残った職員には徹底的な差別を強いることで、当局は人材を活用し損ねた。

常軌を逸する方法で全国税からの脱退に成功したところで、その職員の中に残した傷の大きさは計り知れない。こうした負の遺産を清算すべき時期はとうに到来している。まず、全国税に対する敵対的対応策を即刻止めることだ。全国税組合員に対する人事上の差別を一切行わないことを求める。全国税組合員への処遇が見直されれば、職場全体の処遇改善の契機として、職員の活気と士気が鼓舞され、陽の当らない処遇を強いられてきた人達を励まし職場に明るさが増し、中高年職員の処遇改善策の切り札となる。

また、定年を迎える組合員に理由もなく差別を是正しないで退職を余儀なくさせるような、人道にもとる扱いも止めるべきであることを明確に指摘しておく。

**長官** 国税庁として特定の職員団体を敵視したり、支配介入をしていない。今後ともするつもりはない。

**全国税** その明瞭な回答どおりの処遇が行われることを期待する。

**敵視・支配介入するつもりない**

**全国税** 現場ではプロジェクトチームが編成されるなど、確定期事務の計画策定作業が進んでいる。この中では、「巡回指導」が折込済みとして指示されている。

改めて問うが、「局署の実情に即して」というのが当局の基本スタンスではなかったのか。それがなぜ確定期には放棄され、「巡回」が強制されるのか。

**長官** どう対応するかは、各局署により違うと思う。巡回指導による集合指導を原則と考えているが、各署の実情を総合的に勘案し決定するものと考へており、必ずしも一律に巡回指導による相談体制を採る必要があるとは

告書を探すだけで相当の労力が必要となる。現場の統括官の圧倒的多数がこの処理方法はおかしいと考えているといっている。従来方式へ戻ること提案するがどうか。

**総務課長** バッチ単位で行うことにより、名寄せの手間もなくなり、事務が削減される。KSKシステムで帳票出力もでき、検索できるようにしている(同じ回答を繰り返すかたくなな姿勢に騒然となる)。

**全国税** これは稀にみる愚策だ。見直しするよう指摘しておく。

**確定期対策** **全国税** 現場ではプロジェクトチームが編成されるなど、確定期事務の計画策定作業が進んでいる。この中では、「巡回指導」が折込済みとして指示されている。

改めて問うが、「局署の実情に即して」というのが当局の基本スタンスではなかったのか。それがなぜ確定期には放棄され、「巡回」が強制されるのか。

**長官** どう対応するかは、各局署により違うと思う。巡回指導による集合指導を原則と考えているが、各署の実情を総合的に勘案し決定するものと考へており、必ずしも一律に巡回指導による相談体制を採る必要があるとは

告書を探すだけで相当の労力が必要となる。現場の統括官の圧倒的多数がこの処理方法はおかしいと考えているといっている。従来方式へ戻ること提案するがどうか。

**総務課長** バッチ単位で行うことにより、名寄せの手間もなくなり、事務が削減される。KSKシステムで帳票出力もでき、検索できるようにしている(同じ回答を繰り返すかたくなな姿勢に騒然となる)。

**全国税** これは稀にみる愚策だ。見直しするよう指摘しておく。

**限らないものと考えている。署内で十分協議することで英知を集めてもらいたい。**

**全国税** 四百人の署でも十数人の署でも一律になっている。

この巡回指導という相談体制は、「立ちっ放し労働」という過酷な形態を職員に強いている。立ちっ放し労働を確定期事務から完全に排除することを求める。

(厚生労働省通達に反すると)の全国税の指摘に、長官は「それは過激な発言と思う」「違反するならば重く受け止めなくてはならない、通達の項目のどこに違反するのか」と気色ばみ、お互いの主張の応酬の後)

**長官** そんなに大きな認識の違いはないと思う

が、通達違反と言われると目くじら立つ。職員健康管理は十分に配慮していく。

**全国税** 庁の対応策は椅子と交替制しかない。

**長官** 休憩用の椅子を用意し、一定時間で交替してやる。チェンジャーやハイカウンターの使用など工夫し、18分

**全国税** 端的に言うが、日曜出勤はやめていただきたい。

**長官** これを決断した当時の長官を私としては高く評価している。端的に言えば理解している。

も局署の実情に応じてなる。



「ギョッ」

に、試行署では来署者の対応に忙殺され、内部事務が日中できない状況にある。また、窓口担当職員には

「一人税務署」を強要する事態も進行している。

**総務課長** 「一人税務署」という話だが、相談が個別になった場合、担当と替わるように指示している。さらに専門的な場合は、審理担当に引き継ぐようにしている。電話については相談センターを設置してやることとしている。

**全国税** 従来予定されていた業務とは相当次元の異なる内容を求めるものであり、それを保障する措置が不十分すぎることも問題だ。

第一に、研修時間があまりに短かく、第二に、配転があればすべてが無に帰す可能性があり、第三に、新たな一元化部署は徴収部に属することで、配置される職員は不安が付きまとう。

**長官** 一定の制約条件の中で、どう最大限効果を発揮するかにかかっている。研修が必要であれば状況に応じやると思っている。将来の処遇については、当面、定員や機構の見直しを踏まえることになる。一元化部門は専門的な税法を扱うことになるので、人事交流を促進していきたい。

**労働強化問題** **全国税** アウトソーシング予算が急増しているが、守秘義務や情報管理問題もある。

**超勤の大幅削減** **全国税** 今年の確定期は、三、四時間の超勤はザラで、内部担当では連日、深夜に及ぶという異常な実態になった。この点での抜本策を求める。

**署の実情勘案してと言うが** **再び犠牲者ださない確定期対策を** **立ちっ放し労働」再考にかたくなな姿勢**

また、国税庁としてノルマ主義的業務運営は行わないということではない。表やグラフ等を作成して配付し、あるいはメール配信、また、事務室へのグラフ・標語等の貼り出しなどによる職員への「尻叩き」は禁止する措置をとること。

**長官** 各事務系統への人員配置には、限られた定員を適切に配置していくこととしている。業務運営については、局署の実情に即して計画し、実施に当たっては弾力的に行うよう指示している。

**総務課長** バッチ単位で行うことにより、名寄せの手間もなくなり、事務が削減される。KSKシステムで帳票出力もでき、検索できるようにしている(同じ回答を繰り返すかたくなな姿勢に騒然となる)。

**全国税** これは稀にみる愚策だ。見直しするよう指摘しておく。

**確定期対策** **全国税** 現場ではプロジェクトチームが編成されるなど、確定期事務の計画策定作業が進んでいる。この中では、「巡回指導」が折込済みとして指示されている。

改めて問うが、「局署の実情に即して」というのが当局の基本スタンスではなかったのか。それがなぜ確定期には放棄され、「巡回」が強制されるのか。

**長官** どう対応するかは、各局署により違うと思う。巡回指導による集合指導を原則と考えているが、各署の実情を総合的に勘案し決定するものと考へており、必ずしも一律に巡回指導による相談体制を採る必要があるとは

告書を探すだけで相当の労力が必要となる。現場の統括官の圧倒的多数がこの処理方法はおかしいと考えているといっている。従来方式へ戻ること提案するがどうか。

**総務課長** バッチ単位で行うことにより、名寄せの手間もなくなり、事務が削減される。KSKシステムで帳票出力もでき、検索できるようにしている(同じ回答を繰り返すかたくなな姿勢に騒然となる)。

**全国税** これは稀にみる愚策だ。見直しするよう指摘しておく。

**限らないものと考えている。署内で十分協議することで英知を集めてもらいたい。**

**全国税** 四百人の署でも十数人の署でも一律になっている。

この巡回指導という相談体制は、「立ちっ放し労働」という過酷な形態を職員に強いている。立ちっ放し労働を確定期事務から完全に排除することを求める。

(厚生労働省通達に反すると)の全国税の指摘に、長官は「それは過激な発言と思う」「違反するならば重く受け止めなくてはならない、通達の項目のどこに違反するのか」と気色ばみ、お互いの主張の応酬の後)

**長官** そんなに大きな認識の違いはないと思う

が、通達違反と言われると目くじら立つ。職員健康管理は十分に配慮していく。

**全国税** 庁の対応策は椅子と交替制しかない。

**長官** 休憩用の椅子を用意し、一定時間で交替してやる。チェンジャーやハイカウンターの使用など工夫し、18分

**全国税** 端的に言うが、日曜出勤はやめていただきたい。

**長官** これを決断した当時の長官を私としては高く評価している。端的に言えば理解している。

も局署の実情に応じてなる。

**日曜開庁問題**

**全国税** 端的に言うが、日曜出勤はやめていただきたい。

**長官** これを決断した当時の長官を私としては高く評価している。端的に言えば理解している。

も局署の実情に応じてなる。

**日曜開庁問題**

**全国税** 端的に言うが、日曜出勤はやめていただきたい。

**長官** これを決断した当時の長官を私としては高く評価している。端的に言えば理解している。

も局署の実情に応じてなる。

**日曜開庁問題**

**全国税** 端的に言うが、日曜出勤はやめていただきたい。

**長官** これを決断した当時の長官を私としては高く評価している。端的に言えば理解している。

## 北から南から

「東京・京橋分会」  
今事務年度、幾つもの「PT」なるものが各署で立ち上げられ、署長以下管理職を悩ませています。PTとはプロジェクトチームのこと。「確定期PT」に「e TaxPT」を加えて、「指導育成委員会」と3種類。一元化試行署では、さらに「一元化PT」がメンバーになっていく。統括官はただでさえ色々やれと言われ、さらに会合が増え大変。「PT」を称して「パフオーマンチーム」と揶揄する管理職も...。しかし、問題は管理職だけで済みません。当然に施策等が増え職員にツケが回ってくることに。新施策を行うことが「目的」にならないようにして欲しいものです。

**やめさせよう、誇り傷つける仕事のさせ方**  
【北海道地連】  
9月から札幌北署と釧路署で「内部事務一元化の実施に向けた試行」が始まっています。試行は職員の多大な犠牲の上で行われ、いっ空中分解して...。研修が不十分なため、窓口や電話での相談に答えられないことも多く、「本当に税務職員なの？」と疑われる「あなたでは話にならない」と叱られるのも当然。こうした仕事のやらせ方はすべきではありません。

**管理職悩ますPT?**  
【東京・京橋分会】  
今事務年度、幾つもの「PT」なるものが各署で立ち上げられ、署長以下管理職を悩ませています。PTとはプロジェクトチームのこと。「確定期PT」に「e TaxPT」を加えて、「指導育成委員会」と3種類。一元化試行署では、さらに「一元化PT」がメンバーになっていく。統括官はただでさえ色々やれと言われ、さらに会合が増え大変。「PT」を称して「パフオーマンチーム」と揶揄する管理職も...。しかし、問題は管理職だけで済みません。当然に施策等が増え職員にツケが回ってくることに。新施策を行うことが「目的」にならないようにして欲しいものです。

**立ちっ放し労働」再考にかたくなな姿勢**  
【北海道地連】  
9月から札幌北署と釧路署で「内部事務一元化の実施に向けた試行」が始まっています。試行は職員の多大な犠牲の上で行われ、いっ空中分解して...。研修が不十分なため、窓口や電話での相談に答えられないことも多く、「本当に税務職員なの？」と疑われる「あなたでは話にならない」と叱られるのも当然。こうした仕事のやらせ方はすべきではありません。

**敵視・支配介入するつもりない**  
【北海道地連】  
9月から札幌北署と釧路署で「内部事務一元化の実施に向けた試行」が始まっています。試行は職員の多大な犠牲の上で行われ、いっ空中分解して...。研修が不十分なため、窓口や電話での相談に答えられないことも多く、「本当に税務職員なの？」と疑われる「あなたでは話にならない」と叱られるのも当然。こうした仕事のやらせ方はすべきではありません。

**決断せよ「負の遺産」の清算を**  
【北海道地連】  
9月から札幌北署と釧路署で「内部事務一元化の実施に向けた試行」が始まっています。試行は職員の多大な犠牲の上で行われ、いっ空中分解して...。研修が不十分なため、窓口や電話での相談に答えられないことも多く、「本当に税務職員なの？」と疑われる「あなたでは話にならない」と叱られるのも当然。こうした仕事のやらせ方はすべきではありません。

**超勤の大幅削減**  
【北海道地連】  
9月から札幌北署と釧路署で「内部事務一元化の実施に向けた試行」が始まっています。試行は職員の多大な犠牲の上で行われ、いっ空中分解して...。研修が不十分なため、窓口や電話での相談に答えられないことも多く、「本当に税務職員なの？」と疑われる「あなたでは話にならない」と叱られるのも当然。こうした仕事のやらせ方はすべきではありません。

**労働強化問題**  
【北海道地連】  
9月から札幌北署と釧路署で「内部事務一元化の実施に向けた試行」が始まっています。試行は職員の多大な犠牲の上で行われ、いっ空中分解して...。研修が不十分なため、窓口や電話での相談に答えられないことも多く、「本当に税務職員なの？」と疑われる「あなたでは話にならない」と叱られるのも当然。こうした仕事のやらせ方はすべきではありません。

**全国税** 現場ではプロジェクトチームが編成されるなど、確定期事務の計画策定作業が進んでいる。この中では、「巡回指導」が折込済みとして指示されている。

改めて問うが、「局署の実情に即して」というのが当局の基本スタンスではなかったのか。それがなぜ確定期には放棄され、「巡回」が強制されるのか。

**長官** どう対応するかは、各局署により違うと思う。巡回指導による集合指導を原則と考えているが、各署の実情を総合的に勘案し決定するものと考へており、必ずしも一律に巡回指導による相談体制を採る必要があるとは

告書を探すだけで相当の労力が必要となる。現場の統括官の圧倒的多数がこの処理方法はおかしいと考えているといっている。従来方式へ戻ること提案するがどうか。

**総務課長** バッチ単位で行うことにより、名寄せの手間もなくなり、事務が削減される。KSKシステムで帳票出力もでき、検索できるようにしている(同じ回答を繰り返すかたくなな姿勢に騒然となる)。

**全国税** これは稀にみる愚策だ。見直しするよう指摘しておく。

**確定期対策** **全国税** 現場ではプロジェクトチームが編成されるなど、確定期事務の計画策定作業が進んでいる。この中では、「巡回指導」が折込済みとして指示されている。

改めて問うが、「局署の実情に即して」というのが当局の基本スタンスではなかったのか。それがなぜ確定期には放棄され、「巡回」が強制されるのか。

**長官** どう対応するかは、各局署により違うと思う。巡回指導による集合指導を原則と考えているが、各署の実情を総合的に勘案し決定するものと考へており、必ずしも一律に巡回指導による相談体制を採る必要があるとは

告書を探すだけで相当の労力が必要となる。現場の統括官の圧倒的多数がこの処理方法はおかしいと考えているといっている。従来方式へ戻ること提案するがどうか。